

古田旗争奪少年軟式野球大会 大会規定

1. 大会は最新の公認野球規則並びに本規定に基づいて行われる。
2. 開会式当日は、定められた時刻までに到着し、受付の後写真撮影を済ませる。開会式を行うので、チーム旗・プラカードを必ず持参すること。
3. 登録選手は20人以内とし入場行進も20人以内とする。
試合出場は3年生以上とする。2年生以下の登録と入場行進は認める。
4. 背番号は監督30番・コーチ29/28番、主将は10番・選手は0 から 27番とする。
5. 監督・コーチ・選手は同一のユニフォーム・アンダーシャツ・帽子・ストッキング・スパイクシューズを着用すること（指導者のサングラスは禁止）。チーム代表者などのユニフォーム着用者以外は、自チームのグランドコート・帽子を着用すること。
6. ベンチにはチーム代表者・監督・コーチ・スコアラー・マネージャー(6人以内)と登録選手以外は立入り禁止とする。なお、背番号を付けた監督・コーチ以外はグラウンドでの指導は認めない。
7. 手袋は攻撃側・守備側でそれぞれ次の通り認める。
 - ア) 攻撃のときは、両手に着用可(ベースコーチも含む)
 - イ) 守備のときは、捕手のみ着用可
8. ベンチ内の選手及びベースコーチは、グランドコート等の着用は認める。
9. ベンチ内での携帯電話・喫煙・ガムは禁止。メガホンは1個に限り認める。
10. 試合の進行上、試合開始時刻が早まる場合を考慮して、会場へは1時間前に到着し、本部に連絡し指示に従うこと。試合開始予定時刻を過ぎても到着(連絡)のない時は棄権とみなす。
11. 試合前出場メンバー全員をメンバー表に記入(フリガナ付記)し、本部に5部提出のこと。前の試合の4回終了時に監督・主将・審判立会いで先攻・後攻を決め、グラウンドルールの説明を行う。
12. バット及び捕手用マスク(スロートガード付き)・プロテクター・レガーズはJSBBマークのついた公認のものを使用しなければならない。バットは少年用・一般用を問わず使用できる。
13. 打者・走者・ベースコーチは両側にイヤラップのついたSGマーク付きのヘルメットを着用すること。なお、ヘルメットは8個以上用意すること。捕手用のヘルメットもSGマーク付きを着用のこと。
14. 捕手はイニング初めの投球練習の時も必ずマスクを付けること。
正捕手が投球練習の相手ができない状態の時は控捕手を指名し、速やかに投球練習の相手を務めさせること。控捕手の防具も正捕手に準じる。
15. 抗議できるのは監督または当該選手とする。
16. 試合は80分を過ぎて新しいイニングに入らない(時間優先)。計時は本部が厳正に行う。
17. コールドゲームは規定の試合時間を超えた場合の他、5回以降7点差で適用する。
18. 同点の場合の勝敗は次の通り決める
 - ア) 一回戦から準々決勝戦までは抽選で決める
 - イ) 準決勝戦・決勝戦は特別延長戦で決定する。継続打順で前回の最終打者を一塁走者とし二塁・三塁の走者は順次前の打者とする。即ち無死満塁の状態で最高の2イニング行い得点の多いチームを勝ちとする。なお通常の延長戦と同様、規則によって認められる選手の交代は認められる。
 - ウ) 特別延長戦でも勝敗が決しない時は抽選で決める。
19. 日没の関係上試合前のノックは行わない。各イニング初めのボール廻しは認める。

20. 投手は変化球を投げることを禁止する。変化球を投げたかどうかは球審の判断による。
21. 足を高く上げてのスライディングは危険防止のため禁止する。現実にこれが妨害になったと審判員が認めた場合は、守備妨害で走者をアウトにする。
22. プレイヤー及び審判員への個人攻撃は厳禁とする。また、好ましくない野次には審判員・控審判員が積極的に注意を与える。
23. 次の場合は相手チームの勝ちとする。
 - ア) 試合開始時刻に試合ができる状態でない場合。
 - イ) 審判員の判定または指示に従わず故意に試合を引き延ばしたり、或いは守備や攻撃態勢につかず、試合進行上重大な支障を起こしたとき。
 - ウ) 試合中少年野球としてふさわしくない行為または言動を弄し、審判員および役員の指示に従わなかったとき。
24. タイムの成立はプレイヤーや監督が要求した時でなく、審判員がタイムを宣告した時である。
25. 投手が手首にリストバンドやサポーターなどを使用することを禁止する。なお負傷で手首に肌色の包帯などを巻く必要があるときは、審判員の承諾が必要である。
26. 投手はボールデッドになった場合、必ず投手板を踏み球審の「プレイ」の宣告に従い投球に入ること。
27. 試合をスムーズに進めるためサインは手際良く出すこと。打者はバッタボックスの中でサインを見ること。打者が正規の打撃姿勢をとるまで、投手は打者に投球してはならない。
28. 攻守交代のとき、攻撃に移るチームのベースコーチと第一打者はミーティングに参加せず所定の位置につくこと。
29. 捕手の内外野へのかけ声はホームベースの前に出ないで定位置で行うこと。
30. 監督が同一イニングに二度投手の所に行き、自動的に交代となった投手は他の守備位置につけるが、そのイニングには再び投手には戻れない。
31. ズボンの裾を下まで下ろした履き方は禁止。少年野球らしくストッキングが見えるように履くこと。本項目は指導者にも適用する。

◆グラウンド周辺にはタバコの吸殻・ゴミなど捨てないようにし
各チームで責任を持って処理してください

◆試合当日のクルマの運転は所要時間に余裕をみて
くれぐれも安全運転に心がけてください